

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
人体構造機能学Ⅱ	2年次	必修	講義	2単位（30時間）	山科 正平
授 業 概 要					
<p>本科目では、管理栄養士として必要な知識であるいろいろな疾病の発症機構を理解するために、その基礎となる人体の構造と機能について学ぶ。特に人体構造機能学Ⅱでは、泌尿器系、消化器系、消化器系、脳と神経、感覚器系、ホルモンと産生器官、生殖器系の各器官について、その構造と機能について学習してもらう。これにより人体構造機能学Ⅰと併せて、人体の構造と機能を総合的に理解していただくことが主眼である。</p>					
到 達 目 標					
<p>人体を構成する各器官の構造と機能の概略について説明できる。また各器官に炎症、変成、腫瘍などの疾病が発生したときに、どのような症状が起きうるかについても考察できるようにする。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	腎臓の構造と機能、尿量の調節機能、ホルモンの作用				山科 正平
2	呼吸器系の構造と機能、ガス交換機能、呼吸の調節				
3	消化器系① 消化管の構造と機能				
4	消化器系② 肝胆膵の構造と機能				
5	脳と神経① 神経系の構成				
6	脳と神経② ニューロンの活動				
7	脳と神経③ 大脳、小脳、間脳、脳幹の構造と機能				
8	脳と神経④ 脊髄と末梢神経				
9	脳と神経⑤ 自律神経系				
10	ホルモン産生器官とホルモンの作用① ホルモンと受容体				
11	ホルモン産生器官とホルモンの作用② 下垂体、甲状腺、副腎、膵臓内分泌部				
12	生殖器系① 女性生殖器の構造と機能、女性の性周期、受精と着床				
13	生殖器系② 精巣の構造と機能、男性の外性器				
14	感覚器系① 視覚系、聴覚系、味覚系				
15	感覚器系② 皮膚の構造と機能、皮膚感覚				
学 習 方 法					
<p>講義はパワーポイントを使用して行うが、あらかじめパワーポイントの内容を印刷して配布する。講義に際して使用する図は下記の教科書のもと同じであるので、授業中や帰宅後もよく図を見ながら理解を深めるように勉めること。分からないことは遠慮なく尋ねること。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕 科目修了試験70%、月曜試験30%</p>					
先 修 科 目					
教 科 書、参 考 書					
<p>〔教科書〕 教科書 「カラー図解 新しい人体の教科書 - からだの構造と機能を学ぶ 第1巻、第2巻」 (山科正平著、講談社ブルーバックス) 参考書として、原田玲子他著「人体の構造と生理機能」医歯薬出版刊を奨める。</p>					